

Q. 人口減少対策のために、地域ごとに目標を設定して取り組むべきではないか

A. 地域ぐるみの取り組みに対して支援を行っており、危機感や課題の共有、目標設定を行い、アクションにつなげている



石田 芳生

ここを聞きました

- 定住対策について
- 公共施設整備について
- 所有者不明の不動産について

「定住対策について」

石田 新総合計画における目標人口等の達成度はどの程度か。

市民生活部長 平成31年に3万3000人とする目標は達成が困難である。一方で人口の社会動態の面では、人口減少幅が4分の1になり、平成28年度はマイナス9人に止まり、ほぼ0に近づいた。合計特殊出生率は1・67で、目標値を上回った。子育て施策や定住支援策が結果に結びついている。

石田 市内全人口ではピンとこないが、地域ごとに、ある程度の人口規模を維持していくための目標を設定して取り組むべきではないのか。

市民生活部長 地域ぐるみの移住者受入の活動に対して支援を行っ

ており、危機感や課題の共有、目標設定を行い、アクションにつなげている。地域の主体性を育むことが大切であり、先進地での手法を取り入れたり、全国表彰を受けた宇治地域の事例を紹介したりして啓発にも努めている。

「公共施設整備について」

石田 公共施設等総合管理計画によると、今後、インフラを含む公共施設の維持管理や整備に使える予算が限られてくることであるが、市民の理解を得られるのか。

総務部長 今後さらに踏み込んだ形で再編整備計画を検討していきたい。進捗状況については、節目ごとに市民の皆様や議会にお伝えしていく。

Q. 成羽複合施設(仮称)にはホールの計画があるが、新たにホールを作る必要はないと考える

A. 寄付者は音楽ホールを要望されており、汎用性の高い多目的ホールで理解をいただいた



倉野 嗣雄

ここを聞きました

- 道路管理について
- 本市の土地開発について
- 第3次行財政改革と成羽複合施設(仮称)について

「太陽光発電設備の設置による問題について」

倉野 山林を切り開いて太陽光発電施設が設置されている。豪雨時には土砂災害の危険が高いものもあり、市として規制や指導はできないか。

政策監 5000平方メートル以上の開発を行うときは市の環境保全条例による届け出、3000平方メートル以上であれば、開発事業の調整に関する条例による届け出が必要で、その際、相手と話し合うことができる。しかし、3000平方メートル未満の場合には公的な規制はない。来年度からドラインを作り、規制を強化する状況にあると聞いている。

「成羽複合施設(仮称)について」

倉野 成羽地域局と成羽福祉センターを統合した複合施設の計画が進んでいる。これは老朽化した施設を統合し、更新するもので理解できる。新施設にはホールの計画があるが、現在、ホールは市街地に二つ、川上町、有漢町にそれぞれ一つあり、今後のランニングコストも含めて考えると、新たにホールを作る必要があるのか。

市長 成羽複合施設(仮称)建設にあたって寄付の申し出がある。寄付者は音楽ホールを要望されている中で、汎用性の高い多目的ホールで理解をいただいた。老朽化した二つの施設を統合することによりランニングコストが下がる見込みであり理解いただきたい。

Q. 都市機能を維持するため、人口密度を維持するための施策はあるのか

A. 都市機能にかかる施策は、福祉施設、観光交流施設などについては国の活用可能な制度があるので活用していく



森上 昌生

ここを聞きました

- 立地適正化計画について
- 友好都市との交流について
- 高梁市図書館の現況について

「立地適正化計画について」

森上 都市機能を維持するため、人口密度を維持するための施策はあるのか。

産業経済部長 現在、人口密度を維持するための国、県の制度はないが、都市機能にかかる施策に関しては福祉施設、観光交流施設などについては国の活用可能な制度があるので活用していく。また、平成32年度からの新たな総合計画に組み込んでいく。

「友好都市との交流について」

森上 筑西市出身の陶芸家、板谷波山の作品展を高梁市成羽美術館において開催できないか。また、同時にしもだて美術館において児島虎次郎展を開催してはどうか。

教育次長 以前、交流展の話があったが、当時は互いの準備が整わず見送った。時間はかかるかもしれないが、今後検討していきたい。

「高梁市図書館の現況について」

森上 午後5時以降、利用者の極端に減る4階のキッズスペースに、視覚障害者に対し相対での読み聞かせスペースといった目的別の専用スペースがつかれないか。

教育次長 他市の図書館では、専用スペースを設けているところがある。しかし、そうした専用スペースは利用しないときにはデッドスペースとなる可能性があり、本市の場合は多目的室を有効に使っていただきたいと思っている。

総務文教委員会・管内行政視察

11月21日に松原小学校・宇治小学校・福地小学校・玉川小学校の高梁市内の小規模小学校を訪問し調査聞き取りを行いました。

過疎と少子化により生徒の集団学習への弊害や、配置される教員数が少ないことによる学校運営の苦勞話、そういった中できめ細やかな指導や、各校の環境を生かした特徴ある取り組みなど説明を受けました。校舎や普通教室・図書館や音楽室など特別教室を見学、あわせて学校隣接の児童クラブも訪問しました。

また校舎設備においては雨漏りが見受けられたり、集会室の網戸設置要望や浄化槽排水路の詰まり改善などの要望も出され早速解決へと具体化されました。



校舎見学 校舎内の集会室



松原小 図書室